

新春インタビュー

全農と歩んで10年 美味しいお肉が元気の源

Ishikawa Kasumi
石川 佳純さん
卓球日本代表(全農所属)



プロフィール いしかわ・かすみ
1993年、山口県生まれ。卓球選手だった両親の影響で卓球を始め、ジュニア時代から輝かしい成績を残す。2011年に17歳にして全日本卓球選手権大会で優勝する快挙を成し遂げ、2012年ロンドンオリンピックでは、男女を通じて史上初のシングルス4強入り。団体でも史上初の銀メダルに輝いた。2016年のリオデジャネイロオリンピックでも、団体で銅メダルを獲得。2021年の東京オリンピックでは卓球女子日本代表のエースとして3大会連続のメダルとなる団体銀メダルを獲得した。

2021年の東京オリンピック・卓球女子団体で銀メダルに輝いた、全農所属の石川佳純さん。高校卒業後の2011年に全農に所属し、10年以上を全農とともに歩んできました。その間、日本代表として活躍し続け、五輪では3大会連続でメダルを獲得。チームメイトを励まし、全力で試合に打ち込む力強い姿が、コロナ禍で暗いニュースが続いた日本を明るく照らし、需要や価格の低迷などに苦しむ農家を元気づけました。石川さんに食へのこだわりやコロナ禍の食生活、東京オリンピックについてお話をお聞きしました。

2021年は東京オリンピックという夢の舞台に立ち、銀メダルを獲得することができました。コロナ禍で開催が1年延期となり、社会全体が大変な状況の中でも開催していただき、卓球ができることのありがたさをもっと以上に感じました。農家やJAの皆さんなど多くの方々に応援していただき、東京でプレーできたことは選手としてすごく幸せでした。

東京で金メダルを取ることを目標にできたので結果は残念でしたが、10年間トップレベルで競技を続けることができたことは、自分で自分を褒めてあげたいと思います。2012年に先輩と初めてメダルを取ったから、約10年間頑張ってきた、今回は本当に強い先輩とメダルを取ることができました。日本の卓球のレベルが上がって、その中で自分もプレーを続けてこられたことが、とても嬉しいです。

“食べ物”が身体をつくる“食への意識”が変化

高校卒業後、18歳で全農に所属して、約10年。初めての五輪出場だったロンドンオリンピックでメダルを持ち帰ったとき、たくさんの温かい声援をいただいた



ことが忘れられません。特にリオオリンピック後の5年間はなかなか結果を出せず、すごく苦しい時期もありました。そのような中でも皆さんにはいつも温かく見守って支えていただきました。これまでに卓球を10年間続けることができ、ロンドン、リオ、東京と3大会続けて五輪に出場できたのは、皆さんの応援のおかげです。

この10年間、食事をサポートいただきたり、食や農業に関するさまざまなイベントに出演したりしたことで、食への意識が高まりました。“食べ物”が身体をつくる”と実感しているのです、怪我や病気を

しないように、バランスの取れた国産の良いものをたくさん食べることを意識しています。2021年にJAタウンの公式アンバサダーに就任してから、全国各地の美味しい農畜産物をいただき、改めて日本の農家の皆さんのすごさを感じています。いつもいただいたものは自分で調理し、美味しく食べています。

試合前は、おにぎりや果物、少しお肉をのせた白いご飯など軽めの食事を取ることが多いです。試合後は、ハラミや赤身など脂肪の少ないお肉を100gぐらい食べます。白いご飯とお肉はオリンピック期間中も欠かさず食べていて、私の元気の源です。

全農さんには日本国内だけでなく、海外遠征の際も食事のサポートをしていたり、いつも心強く感じています。海外にも美味しい料理はありますが、日本のものを食べるとほっとするんです。日本の美味しいものがいつでも食べられるというところが、気持的にも体力的にもすごくありがたいです。

2021年は、農協牛乳のパッケージにも私の写真を使っていたきました。昔から飲んでいた農協牛乳に載せてもらう日がくるとは感激です。私も牛乳を飲んで、酪農家の皆さんを応援しています。

「コロナ禍でうち焼肉堪能 日本のお肉は最高です！」

コロナ禍では、おうちで焼肉をし、国産のお肉をたくさん食べました。全農さんから送っていただいたお肉が本当に美味しくて、そこから家で焼肉をよくするようにになりました。コロナ禍で外食できないうち、家での焼肉はとても楽しく息抜きになりました。一番好きなのは、タレで食べるハラミ。昔からぶれずにハラミが大好きです。日本のお肉は本当に美味しく、最高です。毎日食べて元気をいただいています。私もプレーで皆さんを元気づけられるように頑張ります。また、これからはJAタウンの公式アンバサダーとしても、国内外の多くの方に日本のお肉をはじめとする農畜産物の美味しさを発信していきたいと思っています。

2022年の最初の大きな試合は、全日本選手権です。まずはそこで優勝し、1年の良いスタートが切れるように頑張ります。目の前の試合に全力を尽くし、一戦一戦頑張っていきます。全農さんと開催する子ども向けの卓球教室などで全国にうかがい、たくさんの方と交流すること、これまで応援してくださった皆さんに恩返しをしていきたいです。